

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	医療倫理学(Ethics in Medicine)		
ナンバリングコード	S20211	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 診療放射線学
単位数	1	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修:診療放射線学コース 選択:臨床検査学コース、臨床医工学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S003201	クラス名	-
担当教員名	亀井 修		
履修上の注意、 履修条件	診療放射線学コースの学生は必ず履修すること。		
教科書	入門・医療倫理 I〔改訂版〕(勁草書房)		
参考文献及び指定図書	生命倫理学概論(大学教育出版)		
関連科目	医学概論		

○基本情報		
授業の目的	医療倫理学を履修することによって以下の内容について理解する。 1.医療倫理の医療従事者として知っておくべき基本的理論を修得する。 2.医療倫理におけるいくつかのケースを学ぶことによって、その問題点や解決方法を修得する。	
授業の概要	医療従事者と患者との関係を考える際の規範である医療倫理の基本理論を学び、更に医療従事者として知っておくべき、医療倫理の諸問題を理解する。インフォームド・コンセント、守秘義務、脳死や臓器移植、終末期医療、尊厳死、研究倫理など、医療倫理学や生命倫理学の分野で議論の対象となるケースを通して理解を深める。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	①生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。	30点	10点	
【ディプロマ・ポリシー2】	②幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	20点	10点	
【ディプロマ・ポリシー3】	③医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。	20点	10点	
【ディプロマ・ポリシー4】				
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
課題のレポートは内容により評価し、提出時期の遅れや未提出は減点する。 期末テストは100点満点で行い、70点満点に換算する。 成績に関し期末試験70点+レポート評価30点で行い、60点以上を合格とする。 各講義においてレポートを課し、課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行う。				

○その他
課題の配布およびレポートによる報告はクラスルームなどを利用して行う。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	医療倫理学 (Ethics in Medicine) 亀井 修	授業コード	S003201
学修内容				
1. 医療倫理とは何か 医療倫理とは何か、倫理的判断とは何かなど、医療倫理の基礎理論に関する諸問題について学修する。				
予習	本科目のシラバスを確認し、講義内容の予習を行う。			約2時間
復習	講義で学んだ知識を整理し課題をまとめる。			約2時間
2. インフォームドコンセント 医療従事者と患者との関係における「パターナリズム」および「インフォームド・コンセント」の法理と歴史的背景を踏まえつつ、今日の医療現場における問題点について学修する。				
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習を行う。			約2時間
復習	講義で学んだ知識を整理し課題をまとめる。			約2時間
3. 守秘義務と個人情報の保護 医療従事者として身につけなければならない守秘義務と個人情報の保護、伝統的な考え方と現代的な考え方の双方について学ぶ。また厚生労働省の個人情報取り扱いガイドラインについて学修する。				
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習を行う。			約2時間
復習	講義で学んだ知識を整理し課題をまとめる。			約2時間
4. 生殖医療・遺伝子診断における倫理的問題 生殖医療における諸問題や出生前の遺伝子診断の倫理的問題、およびゲノム解析による癌の発症リスクや遺伝子治療における倫理的問題について学修する。				
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習を行う。			約2時間
復習	講義で学んだ知識を整理し課題をまとめる。			約2時間
5. 臓器移植 臓器移植の歴史について学び、更に脳死やそれに伴う臓器移植に含まれる主要な倫理的・法的問題を学修する。				
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習を行う。			約2時間
復習	講義で学んだ知識を整理し課題をまとめる。			約2時間
6. 終末期医療 終末期医療において、延命治療や尊厳死を題材に医療倫理や生命倫理の講義を行う。安楽死や緩和医療について学修する。				
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習を行う。			約2時間
復習	講義で学んだ知識を整理し課題をまとめる。			約2時間
7. 医療事故 医療事故における医療訴訟問題について、どうして訴訟にいたるのか、その背景を学修する。また医療事故裁判の事例を通し、医療現場に潜む問題を整理し、病院側と家族側双方の立場の違いを学修する。				
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習を行う。			約2時間
復習	講義で学んだ知識を整理し課題をまとめる。			約2時間
8. 研究倫理 研究倫理とは何か、また研究倫理の必要性を学び、研究に伴う被験者の安全性、倫理委員会の役割などについて学修する。				
予習	前回の講義の復習と、講義内容の予習。			約2時間
復習	講義で学んだ知識を整理し講義全体をまとめる。			約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	医療倫理学 (Ethics in Medicine) 亀井 修	授業コード	S003201
学修内容				
9. 期末試験				
予習				
復習				
10.				
予習				
復習				
11.				
予習				
復習				
12.				
予習				
復習				
13.				
予習				
復習				
14.				
予習				
復習				
15.				
予習				
復習				
16.				
予習				
復習				